

## バージョンヒストリー

### SyncStation ファームウェア C106

---

ファームウェアバージョン C106 では、以下の問題点を修正/変更しました。

問題#	詳細説明
HW8	HD Tri-level シンク入力信号 59.94Hz (ビデオリファレンス)が使用された場合に発生した 1/2 あるいは 1 フレームのずれ(オフセット)を修正しました。
HW11	<p>ある特定のビデオデッキによっては、“1 フレーム”のずれ(オフセット)が生じます。</p> <p>SyncStation に以下の 2 つの新規メニューが追加したことにより、このフレームオフセットの処理が可能になりました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>“P2Out &gt; 05-Dynamic Offset”: 接続されたマシンは再生時にオフセット修正されます。</li><li>“P2Out &gt; 06-Edit Offset”: 接続されたマシンが編集/録音状態の場合、あるいはマシン上のトラックが録音可能のときにオフセット修正を行います。</li></ul> <p>両者ともにオフセット値(-4 ~ +5 フレーム)は、SyncStation のフロントパネル上で設定します。</p>
	<p>前バージョンでは、Nuendo に接続されているすべてのマシンに録音コマンドが送信されていました。今回、接続されたある特定の録音機材だけに録音コマンドを送信するために以下の 3 つのメニューが追加されました:</p> <ul style="list-style-type: none"><li>“P2Out &gt; 02-Record Cmd”: P2 出力への録音コマンド送信を有効/無効にします。</li><li>“MIDI &gt; 04-Midi Out-Record Cmd”: MIDI 出力への録音コマンド送信を有効/無効にします。</li><li>“USB &gt; 04-Record Cmd-&gt;Nuendo”: SyncStation から Nuendo への録音コマンド送信を有効/無効にします。</li></ul> <p><b>ご注意:</b> これら 3 つの新規追加オプションは初期状態では<b>無効</b>に設定されています。必要な場合は SyncStation のフロントパネル上で有効に変更してください。</p>